

ニューススポーツ祭

3月12日、椎葉小グラウンドでニューススポーツ祭「グランドゴルフ大会」が行われました。この大会は、幅広い年齢層の方が手軽に楽しめる同競技を通して、交流を図りながら健全な健康づくりを目指そうと村体育指導員協議会が主催。最高齢93歳の方を含む村民40人が参加しました。

本村でも愛好家が多い競技だけあって、マイスティック、マイボールで参加する方がいたり、ホールインワンが相次ぐなど好プレーが繰り広げられました。

なお、8ホール2ラウンドで競い合った同大会では、男性の部が山中義幸さん(尾田山中)、女性の部が山中恵子さん(同)と夫婦アベック優勝となりました。



▲好プレーが続出したグランドゴルフ大会

中学校卒業式

3月17日、村内2つの中学校で卒業式が行われました。今年両校を巣立っていく卒業生は33人(椎葉中24人、松尾中9人)。式では、校長先生から一人一人に卒業証書が手渡された後、在校生の送辞や「仰げば尊し」の歌などで卒業生を送りました。

昨年、一昨年台風災害によって多くの学校行事に影響が出ましたが、それを乗り越えた卒業生はたくましく成長。絆もより深まったとのことでした。ほとんどの生徒が進学のため本村を離れていきますが、今後の皆さんの活躍を祈りたいものです。



▲卒業生代表による答辞(椎葉中)

「椎葉の民話」出版に向けて

3月20日、本紙「椎葉の民話」の編集を担当していただいていた山中耕作先生(西南学院大名誉教授)をはじめ4人の同大学院生、学生の皆さんが来村しました。

現在、連載中の民話は今号で79話目。今回は、民話や伝説などの再調査とこれまで収集したものを出版する事前協議のための訪問となりました。すでに200話以上収集されていて、近いうちに方言や内容を整理する予定です。山中先生は「伝承されている多数の民話は、貴重な文化財であり、大いなる資産。九州中央山地の方言の忠実な資料ともなるので、語り継ぐ高齢者が元気な間に早くまとめたい」とのこと。これまでも多数の村民から協力をいただきましたが、この貴重な文化財を後世に残すためにも今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いします。

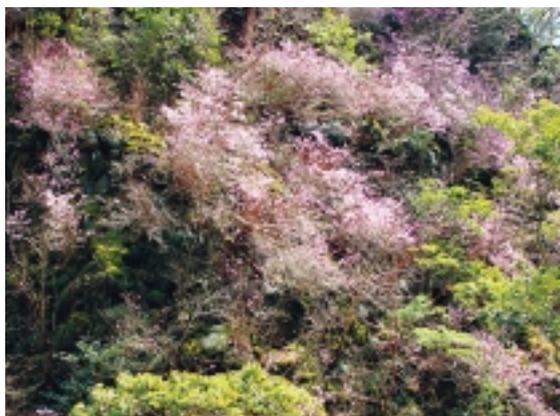


▲学生に昔話を語る椎葉貞夫・ユキノさん夫妻(臼杵又)

椎葉の春を彩る岩ツツジ

3月中旬～下旬、村内各地で岩ツツジの花が咲き、一足早い春の訪れを告げました。群生地と知られる仲塔地区では、鮮やかなピンク色の花が道路沿いの溪谷や険しい岩肌を飾り、村内外から訪れた方は車を止めて記念写真を撮るなどして自然の美しさを楽しんでいました。

今年の冬は積雪が多く厳しい寒さとなりましたが、2～3月は暖かい日が続き、岩ツツジは例年より1～2週間早めの開花となりました。



▲国道265号沿いの岩ツツジ。

